

政策コメンテーター報告(第4回)(意見照会期間:2015年8月18日~8月28日):戸井 和久 株式会社イトーヨーカ堂代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2015年8月下旬から9月上旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年5月下旬から6月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのをご参照ください。</p>		<p>消費者は、なかなか経済成長の実感を持ちえない状況にある。企業収益など経済指標は堅調に推移する一方、実質所得の伸び悩み、さらには円安を背景とする物価上昇が懸念事項として存在している。消費は、味・目新しさ・利便性など付加価値を重視する傾向と価格を重視する傾向とに二極化しつつある。また小売り業者も、業態でなく個別企業ごとに好調・不調の二極化が進んでいる。</p>
デフレ脱却・経済再生を確実にするための取組			
2 - 1	<p>(別紙5)の1.(1)のとおり、経済財政諮問会議ではデフレからの脱却、経済の好循環の拡大に向けた取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入ください。</p>	-	<p>TPPは、構造変化の起爆剤と成り得るチャンスであり、現在は頓挫しているようだが、引き続き取りまとめに最大限の尽力を望む。少子化や高齢化・人口減少が進む社会環境を悲観的にしか見られない環境では、消費者心理は冷え込む一方である。安倍内閣が政策に掲げる第三の矢・成長戦略を切れ目なく着実に進めてもらいたい。</p>
2 - 2	<p>また、(別紙5)の1.(2)のとおり、経済財政諮問会議では我が国経済の潜在的な成長力の強化について取組を進めていくこととしておりますが、現場の実情や地域の視点から特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら300字以内でご記入をお願いいたします。</p>	-	<p>とくにありません。</p>